

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果

令和6年4月18日に小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。当町の児童生徒の状況は次のとおりでした。

小学校（国語科・算数科）

国語科は、全国の平均正答率をやや上回るという結果でした。資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫する力、伝え合う内容を検討する力に課題があることがわかりました。今後は、1人1台端末を効果的に活用しながら、自分の考えを書いたり、まとめて話したりする活動を取り入れることなどを意識して授業を構成し、思考力や表現力を伸ばしていく必要があります。

算数科は、全国の平均正答率と同程度という結果でした。図形の構成について理由を言葉と数を用いて説明する力、また、表から必要な数値を読み取り式に表すとともに、その式から意味を読み取る応用的な力が弱い状況であることがわかりました。今後は、問いに対して主体的に情報を集め、考えを書いたり交流したりする中から、共通点や相違点、新たな問いを見出し伝え合う力を高めていく必要があります。

中学校（国語科・数学科）

国語科は、全国の平均正答率を下回るという結果でした。目的や意図に応じて必要な情報に着目し要約する力、集めた情報を整理し伝えたいことを明確にする力に課題があることがわかりました。今後は、様々な文章に触れながら長文の中から必要な情報を読み取り整理し、自分の考えをまとめる力を高める必要があります。

数学科は、全国の平均正答率をやや下回る結果でした。統合的に考え、成り立つ事柄を見出し、数学的な表現を用いて表現する力、与えられたデータから必要な数値を導き出す力が弱い状況であることがわかりました。今後は、計算ができる力を高めるだけでなく、数学的な表現を用いて説明する力を高めていく必要があります。

各学校においては、学習指導要領の領域、評価の観点、出題の趣旨、さらには児童生徒質問紙との関連などを分析し、自校の課題を洗い出し、改善策を検討しています。

問い合わせ 学校教育課学校教育班 ☎内311